



腸内ガスに引火？！

—西日本防災システム

2016 10 30

手術中にこんな事件があったそうです！！

NBS 119

今年の4月、東京医科大学病院で手術中の女性患者が大やけどを負ったそうです。手術中に**火災**？？患者の腸内ガスがレーザー手術器の照射により着火し、手術用の布(ドレープ)に燃え移ったことが原因だった可能性が高いとする報告書を公表したそうです。火災は今年4月15日、同病院の手術室で、産科・婦人科の医師がレーザー手術器を使って女性患者の手術を行っていた際に発生したようです。手術用布に着火し、患者は腕や足などに大やけどを負いました。レーザー手術器は正常に作動し、異常加熱や漏電など誤作動は確認されず、手術前の準備などにも問題はみつけられなかったようです。報告書では、腸内ガスが何らかの原因でレーザー照射により着火し、ドレープが燃えた可能性が高いとしているそうです。過去に同様の事故がないことなどを理由に、このような原因についてあくまでも”可能性”だとしているようです。この事件で”**火の用心**”は場違いの表現ですね！



西日本防災システム

NIISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 